

令和4年7月1日に思う

7月、奈良県では「差別をなくす強調月間」としています。今年は「水平社創立100年」の節目の年にあります。

「人間を尊敬することによって自ら解放せん」と叫び、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と発信された全国水平社創立宣言（水平社宣言）は、日本で初めての、また被差別当事者が発信した世界初の人権宣言とされています。

この節目に、皮肉にもロシアによるウクライナ侵攻が行われ、平和と人権が根底から踏みじられています。1948年に人権尊重の原則を定めた世界人権宣言が採択され、先の国連サミットにおいては、誰一人取り残されることなく、地球上の全ての人が豊かで幸せに暮らせる未来を創造しようと、SDGsが全会一致で採択されました。「人権の主流化」が大きくなるとなり、世界の共通認識にあると思われる昨今、大国ロシアによる非人道的蛮行が行われるとは、おおよそ想定されていなかったことでもあります。

3月28日、100周年を機にリニューアルされた水平社博物館（御所市）を視察しました。伝える内容は全く変わらないものの、動画を駆使するなど「人間の尊厳と平等を求めた運動の歴史」などがより詳しく展示されていました。

今回のロシアの蛮行は、「平和」をあらためて考えさすものであり、身近なところでの人権侵害、SNSによる誹謗中傷、ヘイトスピーチ、社会的弱者への差別は依然存在します。この機会に、人権のふるさと「水平社博物館（御所市柏原）」を訪ねていただきたいと思えます。